

# 北海道水素地域づくりプラットフォーム 平成30年度第1回会合

日時: 2018/ 9/20 (木) 9:30 - 12:00 (開場 9:00)

会場: ANAクラウンプラザホテル札幌 24階「白楊の間」

札幌市中央区北3条西1丁目2-9

入場無料 定員 150名 (申込締切: 9/18 (火))

地球温暖化を解決するためには、我々が生活する中で排出している二酸化炭素などの温室効果ガスをゼロ又はマイナス(脱炭素化)にしていかなければなりません。そのためには、温室効果ガスの排出源となっている化石燃料から得られるエネルギーの使用を抑え、風力や太陽光などによって生み出される「再生可能エネルギー」の利用を拡大していく必要があります。これを実現するための選択肢として期待されるのが、再生可能エネルギー等を貯め、運び、利用することができる特性を持つ「水素」の活用です。水素エネルギーを活用する社会を構築するためには、水素需要を創出する取組が重要となります。



今回の会合は、日本の水素エネルギー研究を牽引する有識者を講師としてお招きし、水素エネルギーの利活用がもたらすパラダイムシフト(社会の規範や価値観が変わること)や水素社会構築のための地域と大学の役割について、また、鉄道分野への燃料電池活用の展望について御講演いただくほか、会員からの水素に関わる取組の紹介や、会員間で意見交換を行います。

## 基調講演

9:35~10:45

### 「水素エネルギー社会の実現に向けた地域の役割」

九州大学副学長・主幹教授、水素エネルギー国際研究センター長 佐々木 一成 氏

#### 〈講師プロフィール〉

1965年生まれ。1993年スイス連邦工科大学チューリッヒ校工学博士号取得。10年間の在欧後、1999年九州大学大学院総合理工学研究科・助教授。2005年より工学研究院・教授。2011年、主幹教授。現在、九州大学副学長(産学官連携担当)、水素エネルギー国際研究センター長。主に、固体酸化物形及び固体高分子形燃料電池の材料・プロセス研究に従事し、九大「水素プロジェクト」を先導している。



## 講演

10:45~11:15

### 「鉄道総研における燃料電池鉄道車両の取組み」

公益財団法人 鉄道総合技術研究所 車両制御技術研究部 水素・エネルギー研究室 研究室長 柏木 隆行 氏

## 会員からの報告、意見交換 11:15~12:00

※ 受講証明が必要な方は、ご自身で受講証明書フォーマットに必要事項をご記入の上、ご持参いただきますようお願いいたします。

当日は、身分証明書による本人確認を行いますので、顔写真入りの身分証明書をご持参ください。

申込み方法は裏面をご覧ください

北海道水素地域づくりプラットフォーム 平成30年度第1回会合  
 参加申込書 申込締切：平成30年9月18日(火)

北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課 宛

E-mail:hkd-ky-suiso@ml.mlit.go.jp

FAX:011-746-1032

※下記の必要事項を記入の上、E-mail 又はFAXにて送信願います。

貴社/貴機関名等	
----------	--

参加者

所属・役職	氏名
	(代表者)

代表者連絡先

電話番号	
E-mail	

お問合せ先

国土交通省 北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課  
 〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎14階北  
 TEL: 011-709-2311(内線 5417・5455) 担当：大泉、牧方、山根

アクセス



- ・JR札幌駅→東改札口を右へ出て札幌駅南口より徒歩7分
- ・快速エアポート→新千歳空港駅より札幌駅まで37分
- ・地下鉄南北線/東豊線さっぽろ駅→21番出口より徒歩1分
- ・空港連絡バス(北都交通・中央バス)札幌都心行き→『ANA クラウンプラザホテル札幌前(旧札幌全日空ホテル前)』下車(約70~90分)

※ご記入いただいた個人情報については、当会合に関する連絡以外では使用いたしません。